

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

～ガツ芯塩タン～ (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
グループリーダー 井口 慶一

今週のドル円予想レンジ **109.30 ~ 110.70**

りそなWEEKLY COLUMN

トレンド (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
島崎 晃太郎

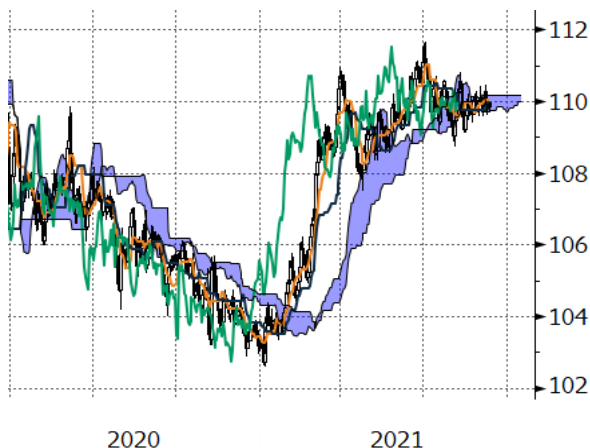
- **トレンドは流行の上位の概念である**
- **今のトレンドに反しているものも、否定せずよく吟味すべきで、もしかするとそれが未来のトレンドかもしれない**

2021/9/13

りそな外為レポート ～ガツ芯塩タン～

今週のドル円予想レンジ **109.30 ~ 110.70**

◆ドル円一目均衡表（日足）



（りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点）

◆為替相場のすすめ

菅首相の総裁選出馬見送りの報道を号砲に日経平均は大きく動き始めましたが、ドル円は未だ膠着商状が続いています。ドル円相場が動きにくいのは、ポジティブな材料にはドル売り円買いと円売りが同時進行し、ネガティブな材料にはドル買い円売りが同時進行と、ドルと円が同じ方向の反応となっているためです。予断を許さない自民党『総裁選』は、投開票日の29日で終わりますが、ドルと円の『相殺戦』は一体いつまで続くのか、戦況の見極めは困難を極めています。

ドル円相場の膠着に伴って、最近では多くのお客さまが為替リスクヘッジの必要性に鈍感になってしまっているように思われます。しかし！！レンジ相場が長ければ長いほど、いざ放たれた時のスピードは速く、値幅も大きくなるのはマーケットのセオリー。こんな時だからこそ、動き始めた時に備えて堅実な為替ヘッジをお勧めします。

今の為替マーケットは辛抱の時間帯です。『臥薪嘗胆』の心構えで備えましょう。緊急事態宣言下で外食を控える私たちの生活に少し似てますね。飲みに行きたい！焼肉を腹いっぱい食べたい！！でも今は臥薪嘗胆。。ガツ芯塩タン。。（グループリーダー 井口慶一）

◆今週の日程

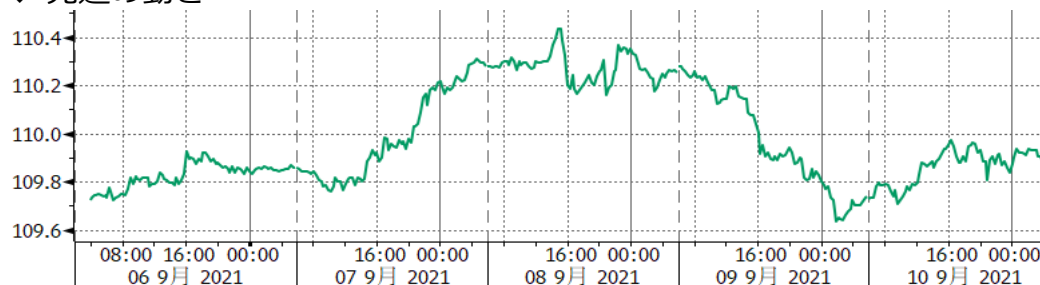
13日(月) 日	21/3Q法人企業景気予測調査
14日(火) 米	8月CPI
15日(水) 日	7月機械受注
15日(水) 中	8月生産・小売・投資
15日(水) 米	8月鉱工業生産

16日(木) 日	8月貿易統計
16日(木) 日	20年債入札
16日(木) 米	8月小売売上高
17日(金) 日	自民党総裁選告示
17日(金) 米	9月ミシガン大消費者信頼感指数

◆今週の予想（ドル高強い↑ 普通↑ ドル安強い↓ 普通↓） NY引け値 9月10日(金) 109.94円 VS 9月17日(金)

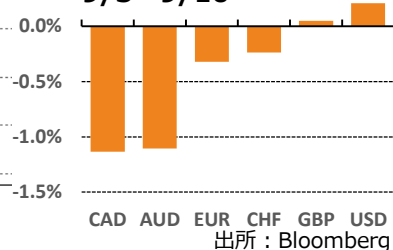
東京						大阪(りそな)				埼玉			大阪(関西みらい)				神戸															
井口	小林伸	石川	田中	中里	范	伊藤	村永	岩田	小林翔	上野	曾根	鈴木	武富	湊真	中太	石井	中根	津田	佐藤	中山	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	荻谷	辻村	山木	下川	
↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↑	休	休	↑	↑	休	↑	↑	↑	休	↑	↑	↑	休	休

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス

9/3→9/10



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/9/13

りそな WEEKLY COLUMN

トレンド

- **トレンドは流行の上位の概念である**
- **今のトレンドに反しているものも、否定せずよく吟味すべきで、もしかするとそれが未来のトレンドかもしれない**

りそな銀行 市場トレーディング室
島崎 晃太郎

トレンドとは



「トレンド」という言葉が広く日本で使われるようになったのはバブル経済期の真ただ中、1980年代半ばごろと言われている。次々に他との差異や新しさを求めていく時代だったからこそであろう。「傾向・流行・趨勢」をあらわす英単語「trend」をそのままカタカナにしたものだが、今日では「ちょっと話題になっている物事」や「旬な話題」に対しても使われている。ツイッターの「トレンド分析」などはまさにこの使われ方である。

マーケットの世界では、相場の大局的な動き（上昇・横ばい・下落）のことをトレンドと呼んでおり、チャート上で安値どうしまたは高値どうしを結んだトレンドラインを目安に、押し目買いや戻り売りなどの戦略を取ったりする。そこを大きく上下に抜けると、トレンド、すなわち市場の大局が変わったのではないかと市場参加者は考えるのである。

筆者は「トレンド」を「流行の上位の概念」として捉えている。というのも、「トレンド」とは「今までの『常識』や多数派と異なる」ものが次第に広まり（この過程が「流行」）、やがて認められ、それが新たな基準や常識となったものだ、というのが筆者の認識だからである。

新たな「トレンド」が生まれるとき、それはすなわち今の「トレンド」を新しいものが打ち破ったときである。新しいもの、しかも今までと違うものが認められるためにはそれ相応の根拠が必要である。十分な根拠もなく今の「トレンド」を否定しているだけだと、変わり者やひねくれ者の域を出ない（※）。相応の根拠、結果を出してしまえば、（結果が出ているのだから）正しいと証明され、それが新たな「トレンド」になる。

ここで、それまでの「常識」を覆し新たなトレンドを作り出した人物として、英国の競泳選手、アダム・ピーティを紹介したい。

ピーティは50Mと100M平泳ぎの世界記録保持者で、先日の東京オリンピックの個人種目では100M平泳ぎに出場（※）、自身の持つ世界記録更新には至らなかったものの、他を寄せ付けぬ圧倒的な速さでオリンピック連覇を達成した。

※最近では多様性を重視している世の中で、「周りと違う」ということだけでも価値があるという考え方もあるが、今回その点については議論しない。

世界最速の平泳ぎ

※オリンピックでは、自由形以外の種目には50Mのレースが設定されていない。

※ちなみに筆者は元水泳部だが、筆者の自由形の自己ベストは、平泳ぎの世界記録より遅い。

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/9/13

りそな WEEKLY COLUMN

【水泳用語集】

ストローク：水中で進むために腕を動かす一連の動作のこと。平泳ぎの場合、1回ストロークして1回キックする。

キック：脚を水中で動かして前に進もうとする動作のこと。

キャッチ：手で体の前方の水をつかむ動作のこと。

プル：キャッチのあと、手で水を後方にかいて、前に進もうとする動作のこと。

リカバリー：後方にかいた手を前に戻し、次のストロークに移ろうとする動作のこと。

ピッチ：動作のテンポのこと。

平泳ぎは4泳法の中で最も水の抵抗を受ける泳ぎ方で、一番スピードが出ない。特に脚を引き戻す動作（キックの前に脚を曲げてひきつける動作）が最も抵抗を受ける。脚を引き戻すたびにスピードが落ちてしまうため、ストローク回数をできるだけ少なくした泳ぎ方が最速である、と皆は考えた。平泳ぎの場合、キックとプルではキックの方が進むので、ストローク回数の少ない泳ぎ方はキック重視の泳ぎ方でもある。アテネ、北京でオリンピック連覇を達成した北島康介選手ののびやかで美しい泳ぎは、まさにその集大成と言えるものである。

だがピーティはそれに全く逆らった泳ぎ方で、驚異的な世界記録を樹立し競泳界を席巻。競泳平泳ぎ界に新たなトレンドを生み出したのである。

彼の特徴は、とにかくピッチが速く、ストローク回数が多い非常にパワフルな泳ぎ方である。腕をあばらに当たるくらいまでひきつけて水をかき（バタフライのキャッチ・プルの動きに似ている）、大きな推進力を得つつも、水面ギリギリで手をリカバリーすることで抵抗を少なくしピッチの速さを保つ。キックではなくプル重視の泳ぎ方である。さらに、呼吸の際には頭を水面から高く出し、前に振って振り子的な推進力も得ている。パワフルだけでなく非常に理にかなった泳ぎ方と言える。

二人のメダリストを比較

北島の泳ぎと数字で比較するとその差は歴然である。表を見てほしい。

	前半50M	後半50M	合計	タイム
北島('08北京)	16回	20回	36回	58'91 (当時の世界新)
ピーティ('16リオ)	21回	25回	46回	57'13 (当時の世界新)

この表は、両者のオリンピック優勝時の100M平泳ぎのストローク回数を比較したもので、2人がいかに異なった泳ぎ方をしているかがわかる。ピーティは北島よりも50Mで5回ずつ、100Mで10回も多くストロークしている。

時代とともに道具も変化するので(※)一概にタイムだけでは比較できないものの、ピーティが今までのトレンドを打ち破る泳ぎで圧倒的なタイムを出したことで、世界中の平泳ぎ選手はそれを真似るようになり、いつしかトップ選手の泳ぎ方はみなピーティに倣ったものになった。新たなトレンドが誕生した瞬間である。

トレンドを作り出すことは難しい。強い信念と実力、そして運も必要である。だが、トレンドにいち早く乗ることはできる。新しいものを見つけたとき、今のトレンドに反しているからと否定するのではなくその良さに気づくことができれば、流行がトレンドになる前に時代を先取りできるかもしれない。マーケットと向き合うときも、その姿勢を忘れてはならないと思っている。

◎注意事項

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。